

ナノ材料リスク評価書-フラーレン(C<sub>60</sub>)-

最終報告版：2011.7.22

更新履歴

【2011.9.20 版】

ページ, 行	修正前	修正後 (改訂版)
作成体制	執筆担当者 第Ⅰ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅱ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅲ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅳ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅴ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅵ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅶ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup> 第Ⅷ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup>	執筆担当者 第Ⅰ章～第Ⅷ章： 篠原 直秀 <sup>1</sup>
目次	第Ⅷ章 外部レビュアーのコメントと <u>著者</u> らの対応  伊藤潤平レビュアーからのコメントと <u>著者</u> らの対応 市原学レビュアーからのコメントと <u>著者</u> らの対応 櫻井治彦レビュアーからのコメントと <u>著者</u> らの対応 高橋道人レビュアーからのコメントと <u>著者</u> らの対応 谷口武俊レビュアーからのコメントと <u>著者</u> らの対応	第Ⅷ章 外部レビュアーのコメントと <u>筆者</u> らの対応  伊藤潤平レビュアーからのコメントと <u>筆者</u> らの対応 市原学レビュアーからのコメントと <u>筆者</u> らの対応 櫻井治彦レビュアーからのコメントと <u>筆者</u> らの対応 高橋道人レビュアーからのコメントと <u>筆者</u> らの対応 谷口武俊レビュアーからのコメントと <u>筆者</u> らの対応
P.I-7, 最終行	この結果は, 第Ⅴ章のリスク評価に用いる.	この結果は, 第Ⅵ章のリスク評価に用いる.
P.I-8, 7行目	レビュワー5名からのコメントと, それに対する <u>著者</u> らの対応を記した.	レビュワー5名からのコメントと, それに対する <u>筆者</u> らの対応を記した.
P.I-8, 図I-1	第Ⅷ章 外部レビュアーのコメントと <u>著者</u> らの対応	第Ⅷ章 外部レビュアーのコメントと <u>筆者</u> らの対応
P.III-13, 30行目	作業環境中の<2,500 nm の	作業環境中の<250 nm の
P.III-14, 1行目	(<2,500 nm で $0.008.3 \times 10^{-7} \text{ mg/m}^3$ )	(<250 nm で $8.3 \times 10^{-7} \text{ mg/m}^3$ )
P.III-14, 2行目	(<2,500 nm では $6.37 \times 10^{-5} \text{ mg/m}^3$ )	(<250 nm では $6.37 \times 10^{-5} \text{ mg/m}^3$ )
P.III-22, 1行目	これらの結果は, 第Ⅴ章のリスクの判定	これらの結果は, 第Ⅵ章のリスクの判定
P.V-7, 8行目	また, 参考までに <u>肺胞表面積</u> でなく <u>体重</u> や肺重量のヒト/ラット比	また, 参考までに <u>体重</u> でなく <u>肺胞表面積</u> や肺重量のヒト/ラット比

P.V-9 , 3 行目	$NOAEL_{human\_work, d=x}$ $= NOAEL_{human\_work, d=96nm, GSD2.0} \times \frac{f_{d=96nm, GSD2.0}}{f_{d=x}}$ $= 2.75 \text{ mg/m}^3 \times \frac{0.0913}{f_{d=x}}$	$NOAEL_{human\_work, d=x}$ $= NOAEL_{human\_work, d=96nm, GSD2.0} \times \frac{f_{d=96nm, GSD2.0}}{f_{d=x}}$ $= 3.5 \text{ mg/m}^3 \times \frac{0.0913}{f_{d=x}}$
P.V-9 , 6 行目	NOAEL (2.8 mg/m <sup>3</sup> ),	NOAEL (3.5 mg/m <sup>3</sup> ),
P.V-9 , 12 行目	$NOAEL_{human\_env, d=x}$ $= NOAEL_{human\_env, d=96nm, GSD2.0} \times \frac{f_{d=96nm, GSD2.0}}{f_{d=x}}$ $= 1.01 \text{ mg/m}^3 \times \frac{0.107}{f_{d=x}}$	$NOAEL_{human\_env, d=x}$ $= NOAEL_{human\_env, d=96nm, GSD2.0} \times \frac{f_{d=96nm, GSD2.0}}{f_{d=x}}$ $= 1.3 \text{ mg/m}^3 \times \frac{0.107}{f_{d=x}}$
P.V-9 , 15 行目	NOAEL (2.75 mg/m <sup>3</sup> ),	NOAEL (1.3 mg/m <sup>3</sup> ),
P.V-12 , 3 行目	$AEL(PL)_{work, n=x, GSD=y} = 0.39 \times \frac{f_{work, n=x, GSD=y}}{f_{work, n=96nm, GSD=2.0}} = 0.39 \times \frac{f_{work, n=x, GSD=y}}{0.0913}$ $AEL(PL)_{env, n=x, GSD=y} = 0.39 \times \frac{f_{env, n=x, GSD=y}}{f_{env, n=96nm, GSD=2.0}} = 0.014 \times \frac{f_{env, n=x, GSD=y}}{0.107}$	$OEL(PL)_{work, n=x, GSD=y} = 0.39 \times \frac{f_{work, d=96nm, GSD=2.0}}{f_{work, d=x, GSD=y}} = 0.39 \times \frac{0.0913}{f_{work, d=x, GSD=y}}$ $AAQC(PL)_{env, n=x, GSD=y} = 0.014 \times \frac{f_{env, d=96nm, GSD=2.0}}{f_{env, d=x, GSD=y}} = 0.014 \times \frac{0.107}{f_{env, d=x, GSD=y}}$
P.V-12 , 5 行目	ここで、 <u>AEL(PL)</u> は許容暴露濃度 (PL：時限) を、 <u>f</u> は肺胞沈着率である。下付きの <u>work</u> 及び <u>env</u> は作業環境及び一般環境における値であることを、	ここで、 <u>OEL(PL)</u> は作業環境における許容暴露濃度 (時限) を、 <u>AAQC(PL)</u> は一般環境における許容暴露濃度 (時限) を、 <u>f</u> は肺胞沈着率を表している。
P.V-13, 27 行目 P.VI-2 , 30 行目 P.VII-2 , 15 行目	$0.39 \times \frac{f_{work, n=x, GSD=y}}{0.0913}$	$0.39 \times \frac{0.0913}{f_{work, d=x, GSD=y}}$
P.V-13, 28 行目 P.VI-2 , 31 行目 P.VII-2 , 16 行目	$0.014 \times \frac{f_{env, n=x, GSD=y}}{0.107}$	$0.014 \times \frac{0.107}{f_{env, d=x, GSD=y}}$
P.VI-1 , 9 行目	$HQ = \frac{C_{exposure}}{AEL(PL)} \quad (V-1)$ <p>(<math>C_{exposure}</math>: 推定暴露濃度, <math>AEL(PL)</math>: 許容暴露濃度 (PL: 時限付き))</p>	$HQ = \frac{C_{exposure}}{OEL(PL) \text{ or } AAQC(PL)} \quad (VI-1)$ <p>(<math>C_{exposure}</math>: 推定暴露濃度, <math>OEL(PL)</math>: 作業環境中の許容暴露濃度 (時限付き), <math>AAQC(PL)</math>: 一般環境中の許容暴露濃度 (時限付き))</p>
P.VI-9 , 12 行目	ないことが判断された。	ないことが確認された。
第VIII章 , タイトル & ヘッダー	外部レビュアーのコメントと著者らの対応	外部レビュアーのコメントと筆者らの対応
P.VIII-1 , 5 行目	コメントに対する著者らの対応結果	コメントに対する筆者らの対応結果
P.VIII-2・ P.VIII-9・ P.VIII-11・ P.VIII-14・ P.VIII-16 , 1 行目	・・レビュアーからのコメントと著者らの対応	・・レビュアーからのコメントと筆者らの対応